日本整形外科学会　教育研修講演単位

2026 年 10 月 29 日（木）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	認定 26-1092		オンデマンド単位取得
						単位	枝番	
10:10～11:10	1	会長講演		至誠一貫，まことのみんなの幸いのために ―挑み，超え，調えるリハビリテーション医学―	川手 信行	13、Re	001	○
11:20～12:20	2	教育講演 1		ヒトはなぜ合理的合目的に動けるのか	佐々木 信幸	1、Re	002	○
14:50～15:50	1	特別講演 2	投げ続けるための医療 ―スポーツ障害の予防と健康管理を再考する―	投げ続けるために肘を守る～学童からプロまで野球肘の現状と課題～	富田 一誠	2、9、S	003	○
				投球障害肩に対する理学療法	千葉 慎一			
15:20～16:20	5	スイーツセミナー1		姿勢と運動から考える小児リハビリテーションの新展開 ―脳性まひ児とダウン症のある子どもの生活を支える実践―	真野 英寿	3、13、Re	004	○
15:40～16:40	3	教育講演 3		がん治療と生活の両立を支えるリハビリテーション診療の専門性	辻 哲也	5、13、Re	005	○
16:00～17:00	7	医師＆専門職調うセミナー3		ICU における作業療法の役割と実践：生活期を見据えた包括的支援	駒場 一貴	13、Re	006	○
17:10～18:10	7	医師＆専門職調うセミナー4		サルコペニア・フレイルを“診る”・“支える”	山田 実	13、Re	007	○

2026 年 10 月 30 日（金）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	認定 26-1092		オンデマンド単位取得
						単位	枝番	
8:30～9:30	1	教育講演 4		リハビリテーション診療における DX	大高 洋平	13、Re	008	×
9:40～10:40	4	教育講演 6		運動器腫瘍に対する機能再建とリハビリテーション戦略 ―周術期 から生活期まで―	城戸 顕	5、13、Re	009	○
9:40～10:40	1	特別講演 4		新地域医療構想と地域医療の未来-医療提供体制はどう変わるのか-	西嶋 康浩	14-5	010	○
10:50～11:50	7	医師＆専門職調うセミナー6		体幹深部筋の機能評価と再教育	金岡 恒治	13、Re	011	○
12:05～13:05	4	ランチョンセミナー4		リハビリテーション診療における末梢磁気刺激	加賀谷 斉	8、13、Re	012	○
12:05～13:05	6	ランチョンセミナー6		リハビリテーション病院における運動器疾患治療の最前線	平泉 裕	13、Re	013	○
13:15～14:15	1	特別講演 5		脊髄損傷患者に対する新しい幹細胞製剤	本望 修	7、SS	014	○
13:15～14:15	4	教育講演 8		サルコペニアだけでは語れないフレイル―栄養・姿勢・Standing SAD から考える身体評価―	永井 隆士	4、13、Re	015	○
14:20～15:20	1	特別講演 6		1 ミリも動けない絶望から「生活の経営者」へ―社会参加と主体性を実現するポジティブスイッチの入れ方	澤邊 芳明	14-5	016	○
				障害のある人の社会参加―実臨床に役立てたい運動 FIM13 の事例に学ぶ主体性獲得と生活マネジメントの分析―	和田 真一			
14:25～15:25	4	教育講演 9		その痛みは，なぜ続くのか ― 病態と修飾因子から考える痛みに対するリハビリテーション治療 ―	坂本 淳哉	13、Re	017	○
14:25～15:25	5	教育講演 16		生活期リハビリテーション医療における治療体系化の見える化 ―何を，どこまで，どのように行うのか―	三上 幸夫	13、Re	018	○
15:00～16:00	2	スイーツセミナー2		大学病院における先端機器の幅広い活用～保険診療から自由診療まで～	川上 途行	13、Re	019	○
				生体信号反応式運動機能改善装置による海外展開と保険外のリハビリテーション支援	安永 好宏			
15:30～16:30	1	特別講演 7		歩行を支える知の進化 ― 脳卒中下肢装具「これまで」と「これから」―	山本 澄子	13、Re	020	○
15:35～16:35	5	教育講演 17		スポーツを通じた共生（インクルーシブ）社会の実現 ― 国内の取り組みと今後の展望 ―	牛尾 会	13、Re	021	○
16:45～17:45	4	教育講演 11		International Classification of Functioning, Disability and Health をリハビリテーション診療で活用するには ― 活動を共有できる診断・評価ツールとしてどう使うか ―	向野 雅彦	13、Re	022	○
16:45～17:45	7	医師＆専門職調うセミナー8		装具を使用する脳卒中片麻痺者に対する行うべき支援とは ―装具支援格差は入院中から始まっていた―	久米 亮一	13、Re	023	○

2026 年 10 月 31 日（土）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	認定 26-1092		オンデマンド単位取得
						単位	枝番	
8:30～9:30	5	教育講演 24		歩行障害に対する新しいリハビリテーション治療	藤原 俊之	13、Re	024	○
8:30～9:30	4	教育講演 19		脊髄損傷の摂食嚥下障害 ― 病態理解から新規治療戦略まで ―	山本 五弥子	7、13、SS	025	○
8:30～9:30	1	特別講演 9		在宅で育つ医療的ケア児の挑・超・調 ― 家族とともにあゆむ医療と支援 ―	中村 知夫	3、Re	026	○
9:40～10:40	4	教育講演 20		運動器疾患に対するリハビリテーション医療―機能回復から活動・参加へ―	宮本 健史	13、Re	027	×
9:40～10:40	5	教育講演 25		ケガを防ぎ、最高のパフォーマンスへ ―サッカー現場におけるメディカルサポートの実践―	池田 浩	2、13、S	028	×
10:50～11:50	7	医師＆専門職調うセミナー11		障害歩行の特徴分析：追尾型歩行計測システムによって得た各種歩行障害データの集約解析	河島 則天	13、Re	029	○
10:50～11:50	1	特別講演 11		次世代につなぐリハビリテーション医学教育－学びの体系化と人材教育－	久保 俊一	13、Re	030	○
12:00～13:00	2	ランチョンセミナー8		手指リハビリテーション支援ロボットが拓く上肢治療の新時代	内山 侑紀 竹林 崇	10、13、Re	031	○
12:00～13:00	5	ランチョンセミナー10		リハビリテーション医療の支援システムと AI 予測分析ツールの掛け合わせがもたらす現場変革	小野 圭介	13、Re	032	○
				AI が拓くリハビリテーション予後予測の新たな可能性	白坂 智英			